

北海道福島商業高等学校 事務職員 武田 康汰 令和5年度採用(教育行政A)

○主な経歴

R5.4 福島商業高等学校



休日に趣味を満喫！

－北海道の教育行政を選んだ理由－

教員の父の影響もあり、大学では教職課程を履修していましたが、父の仕事の状況を聞いたこと、大学の部活や就活において大学の職員にお世話になった経験から教員としてではなく、生徒はもちろん、教職員も含め不自由なく学校生活を送れるようサポートをしたいと思い教育行政を選びました。

－担当業務とそのやりがい－

主に財務・給与を担当しています。先生方の給与に関わる手当や旅費の計算、学校生活に必要なものの購入・修繕のため業者と交渉を行う事もあります。自身と違う職種の方の話を聞けることが勉強にもなり、とても楽しく感じています。

－所属の雰囲気（はたらきやすさ）－

小規模校で教職員や生徒が少ないこともあり、先生方ともよく話したり、生徒と接する機会が多いと感じます。また今年度から道外からも生徒を募集しているため、道外の保護者等への案内や連絡に少し苦労していますが、生徒同士では道外生に対して分け隔て無く接しているため、かなり明るい印象があり、良い環境で勤務できていると思います。

－余暇の過ごし方－

退勤後は、アニメ鑑賞や漫画を読んだり、地元に住んでいる友人達と通話をしながらゲームをして過ごしています。休日は車で函館まで行き、趣味のグッズを集めたり、食べることが好きなので予め調べていた美味しいものを食べに行っています。天気のいい日には江差など少し遠くまでドライブに行きます。

－働く前のイメージと実際に働いて感じたこと－

最初は校舎の修繕、物品の購入、授業料や給与などを担当するイメージしかありませんでした。勤務地が小規模なこともありますが、実際は想像以上に担当する業務の幅が広いと感じました。授業料や教職員の給与、物品の購入や修繕は勿論、除排雪等の契約など想像以上に事務で管理している業務が多種多様で驚きました。共通して生徒や教職員が快適に学校生活を送るための環境づくりに繋がると感じます。

－採用試験に向けて取り組んだこと－

筆記試験の小論文試験や面接に向けて、道内の情報を中心に新聞やニュースをチェックするようにしました。受験区分に関係の有る無しに捕らわれず、一次産業（農業・水産業）など広く北海道の情勢に注目して情報を仕入れ、試験に活かせる引出を増やして試験に挑みました。

－これから教育行政区分の試験を受験する方・採用予定者へのエール－

道立学校での勤務経験しかありませんが、学校の事務職員はいわゆる「何でも屋」のようなところがあり、珍しい経験を積むことができるため、業務に活かせることや会話の引き出しが日に日に増えていくのが楽しく感じています。また近年ではワークライフバランスを大切にしているため休みを取りやすく、自分の時間を確保しやすいのも魅力だと思います。皆様のことをお待ちしております。